世界無形遺産【能楽】【文楽】【歌舞伎】の世界へアプローチする情報誌

KENSYO

KENSYOの「見所」は、能楽の言葉で観客席のこと。日本文化をもっと知りたいひとの交歓誌。世界無形遺産を支援活動する専門情報誌。

INTERVIEW NOH
シテ方観世流
味方玄

能楽NOTE
狂言の種類

STAGE LINE-UP CHECK

特別企画
追悼 二代目中村吉右衛門

特集
刀

VOL.124
2022 SPRING EDITION

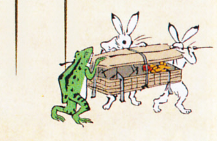
世界無形遺産 能楽 文楽 歌舞伎
WORLD INTANGIBLE HERITAGE

←携帯サイトへはこちらのQRコードから
発行元／SECTOR88
写真協力／国立劇場・茂山狂言会・(公社)日本俳優協会・八木洋一
カリグラフ／ベン　表紙イラスト／河野いくる

春狂言

❶ 12時30分開演
スペシャルトーク
筑紫奥
水掛聟
作・演出：茂山童司
新作狂言
二人山伏

❷ 16時開演
スペシャルトーク
隠笠
棒縛
作・演出：HANAGATA
新作狂言
my sweet home ～旅は道連れ～



2022年5月3日（火・祝） 会場 **大槻能楽堂** 大阪市中央区上町A-7

入場料 ※前売・税込（送料別）【各公演】**5,000円** 好評発売中

「春狂言2020」「春狂言2021」のチケットは、同時刻の公演で、そのままご利用いただけます
※全席指定　※当日券は500円増　※未就学児童のご入場はご遠慮ください

※演目の写真は、実際の配役と一部異なります。

お申込み
お問合せ
セクターエイティエイト ☎06-6353-8988（平日10:30～17:00）
能狂言ホームページ　www.nohkyogen.jp

その他の
プレイガイド
●チケットぴあ https://t.pia.jp/【Pコード：510-529】
●ローソンチケット https://l-tike.com/【Lコード：52670】
●イープラス https://eplus.jp　●大槻能楽堂 ☎06-6761-8055

主催／KENSYO（株式会社セクターエイティエイト）　企画制作／SECTOR88

※2020年の配役から一部変更になります。詳細はホームページをご参照ください。

振替公演

INTERVIEW

インタビュー 能

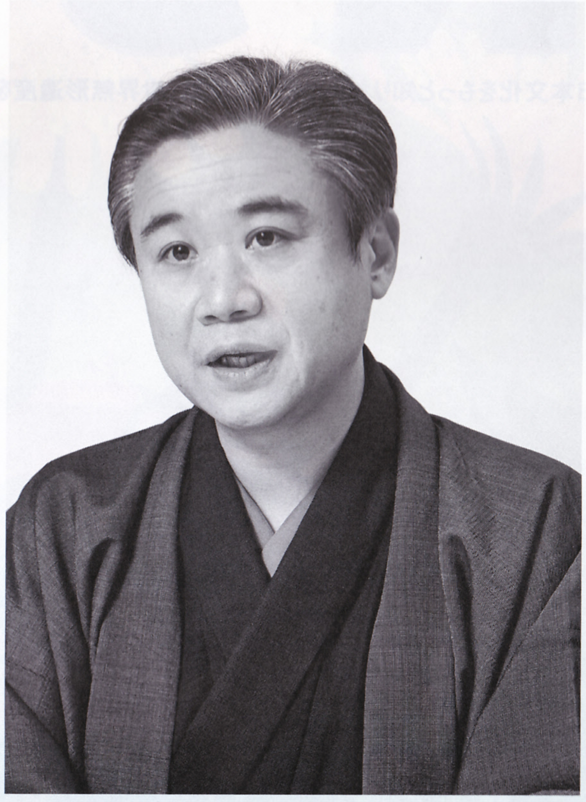
シテ方　観世流

味方 玄

SHIZUKA MIKATA

能に魅入られ
能に愛され
能に生きる人

インタビュー・文／亀岡　典子　　撮影／後藤　鐵郎



能に魅入られ、能に愛され、能に生きる人である。

「若い頃から〝能フェチ〟でしたね。いまですか？　ますますフェチ度は深くなっているかな」。

髪に白いものがチラチラのぞくようになったが、少年のような笑顔は昔から変わらない。

京都を本拠に活動する観世流シテ方。深い解釈、花のある舞、迫力とともに余韻を感じさせる舞台で、古典から新作能、復曲能まで幅広く活躍している。いま、この世代でもっともチケットが取りにくい能楽師のひとりと言われている。

昨年、独立三十周年を迎えた。今年は新たなステージの第一歩となる。

「最近、気付きが増えているんですよ」と明かす。

「よく八十歳ぐらいの方が『ようやく能がわかってきた』とおっしゃるでしょ。僕なんかまだまだですけど、自分の稽古をしているときでも、お素人さんのお稽古をしているときでも、能の解説をしているときでも、『あ、こういうことなのかな』と、ハッとわかることがあるんです。私なりに年齢を重ね、感受性が豊かになり、昔見えなかったものが見えてきているからかもしれません」

もうひとつの心境の変化は、無心の境地である。

「どうしてもやり過ぎるんです。でも十年くらい前から、こちらはグッと引いて、いろんなものを削ぎ落としていって、そのなかに、なにかしらの景色を見ていただけるような、そういう考え方になってきました」としみじみ語る。

それは、平成二十七年に亡くなった師、片山幽雪の教えでもあった。中学生の頃から憧れ、生涯、その傍らにいて学び続けた人の言葉が改めて胸に響く。

たとえば、「西行桜（さいぎょうざくら）」。都の桜の名所を讃える「クセ」で、「ある名人は桜の名所をひとつひとつ眺める所作をされましたが、幽雪先生は何もされなかった。ただ、命の時間に向いて歩いていかはったんですね。その方がずっと深かった。老人はだんだん老いていき、夜は次第に明けていく。そして、花はおぼろで散りがけになっていく。そういう人間と自然の時間が重なっていく様子を何もせずに表現された。そんな舞台を拝見すると、能の深さとともに、自分もやってみたいと思うんですよ」

「自分が何十年かやってきてわかったのは、まず稽古。もちろんセンスや資質もあるかもしれませんが、なにより能が好きだということ。そして素晴らしい師匠ですね」

それは、片山幽雪という師に巡り合えた自身の実感でもあるのだろう。

昨年、三女の梓さんが初面で「小鍛冶（こかじ）」を勤めた。プロの能楽師としての道を歩み始めたのだ。能はまだまだ男性中心の社会。そこに踏み出していく娘を、父として、また能楽界の先輩として、温かく、厳しく見守る。

7月2日、東京・千駄ヶ谷の国立能楽堂で、自主公演「テアトル・ノウ」を行う。東京では初めてという「道成寺」を、「無躙之崩（ひょうしなしのくずし）」の小書きで勤める。

紀州の女珍・清姫伝説をもとに、女性の恋の執心のすさまじさを描いた大曲。何度か演じているが、東京では初めてということもあって、上演を決めた。

能舞台に巨大な鐘が釣られ、前シテの白拍子は小鼓の打音と掛け声に合わせて足を踏み出したり、かかとやつま先を上げ下ろしする。乱拍子といわれる独特の所作だ。やがて白拍子は落下した鐘に飛び入り、そのなかで後シテの鬼女に変わる。異様な緊張感のなかに女の情念が浮かび上がる。

「ただ、鐘入りが美しいとか、乱拍子が鮮やかだとか、即物的な魅力ではなく、女性の執念が、ケレンではなく、見えてこないかなと思っています。それでも、鐘入りはひとつ間違えば大けがをしますから、命がけの覚悟でやることは間違いないですね」

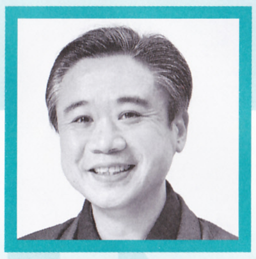
地頭に現在の師の片山九郎右衛門。ワキの僧に宝生欣哉、囃子方に、杉信太朗（笛）、成田達志（小鼓）、亀井広忠（大鼓）、前川光範（太鼓）、能力に野村萬斎ら、ほぼ同年代の実力者が揃った舞台である。

昨秋、京都で行ったテアトル・ノウの公演では老女物の大曲「卒都婆小町（そとわこまち）」に初めて挑んだ。五十代半ばのいま、目指す能はどういう姿なのだろう。

「男女の執心や心の葛藤を深く描いた『定家（ていか）』や『野宮（ののみや）』などはまたやりたいですね。こういうものは能でないと表現できない、精神的な世界だと思うんです。それを、見せようとせず、みずみずしい舞台として作り上げていきたい」

能の未来を照らす爽やかな物腰の中に、能に魅入られた人の凄みが覗いた。

PROFILE



味方 玄（みかた しずか）

1966年京都にて能楽師・味方健の長男として生まれる。幼少より父に手ほどきを受け、1986年、片山幽雪（人間国宝）に内弟子入門。幽雪（九世九郎右衛門）、十世九郎右衛門に師事。1991年独立。2001年「京都市芸術新人賞」受賞。2002年KBS京都テレビにて能楽入門番組「能三昧」（全28回）を監修、出演する。2003年新作能「待月」（つきまち）の脚本を手がけシテを演じる。2004年「京都府文化賞奨励賞」受賞。2006年淡交社より「能へのいざない」を出版。2011年、重要無形文化財(総合)認定。

第四十八回
篠山春日能
令和4年 4/9（土）
国重要文化財 春日神社能舞台（兵庫県丹波篠山市黒岡75）
※荒天の場合は会場を市立田園交響ホールに変更
【観能料（前売券）】解説書付き ※前売券販売期間4月3日（日）まで
指定席／A席6，000円・B席5，500円・C席5，000円
自由席／一般4，500円・学生2，000円
【開場】10時30分 【開演】13時30分
能 二人静（ふたりしずか） 大槻 文藏（人間国宝）
狂言 仏師（ぶっし） 茂山 千五郎
能 天鼓（てんこ） 観世 銕之丞
【お問い合わせ】丹波篠山市教育委員会事務局文化財課 TEL 079-552-5792（平日 8:30～17:15）／
篠山能楽資料館 TEL 079-552-3513（10:00～16:00 月曜休館）
主催／篠山能実行委員会・丹波篠山市　後援／兵庫県

第四十四回 テアトル・ノウ東京公演
能 道成寺 無躙之崩 味方 玄
舞囃子 絵馬 観世 銕之丞 観世 喜正 観世 淳夫
狂言 鐘の音 野村 萬斎
一調 女郎花 片山九郎右衛門 亀井 忠雄
令和4年
7月2日（土）午後2時開演（午後1時開場）
▶会場　国立能楽堂（東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1）
▶入場料（全席指定）
正面12,000円　脇・中正面10,000円
※未就学児のご入場はお断り申し上げます
4月27日（水）よりチケット発売
テアトル・ノウ事務局
TEL&FAX 075-213-1774
ホームページ　https://theatrenoh.com/